

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2017年2月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2019年1月号

特集

分娩を遅延させないために助産師ができること

正常に進むと思っていた分娩が、思いのほか進まなかったという経験はありますか？ 妊娠期からの身体づくりによって、分娩遅延を予防する取り組みをまとめました。分娩第2期が遅延する要因と助産師に求められる対応についても解説します。

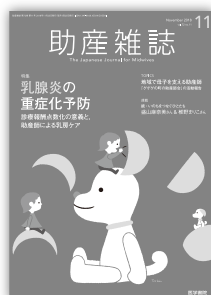


2018年12月号

特集

習慣化されたケアをエビデンスから検証する

「エビデンスに基づくケア」の大切さが謳われ始め、日頃のケアを見直すことが常識となっています。そこで「臨床の助産師のケアにどう役立っているか」を念頭に置き、普段行われている15のケアについて、科学的根拠の確実性を検証します。

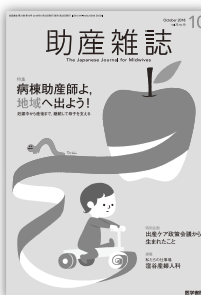


2018年11月号

特集

乳腺炎の重症化予防診療報酬点数化の意義と、助産師による乳房ケア

2018年度の診療報酬改定において、「乳腺炎重症化予防ケア・指導料」が新設されました。点数化の意義や、施設および地域での実践、乳腺外科医の役割などを解説します。

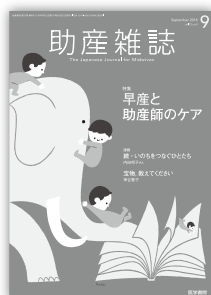


2018年10月号

特集

病棟助産師よ、地域へ出よう！

妊娠中から産後まで、継続して母子を支える入院中にかかった助産師が母子を訪問することによって、母親の不安を大きく軽減でき、そして同時に、家庭での様子から教えられることもたくさんあります。病棟の助産師が地域へ出ることの効果と実践を紹介いたします。



2018年9月号

特集

早産と助産師のケア

早産を防ぐために、助産師による予防的な介入はできないでしょうか。特集では早産管理の現状と、助産師ができる予防的ケアや母親への対応を紹介します。「早産児と発達障害」および「低出生体重児のリスク軽減」についての論考も紹介します。



2018年8月号

特集

「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」院内助産の拡大を目指して

2018年3月に院内助産・助産師外来の新たなガイドラインが示されました。特集ではガイドラインの内容やねらいを解説するとともに、院内助産を実施している3施設からの報告を紹介し、院内助産の今後の発展につなげたいと考えます。

2018年 特集

- 7月号 ①助産師出向システムの今／②助産師が寄り添う更年期
- 6月号 助産師が行なう産後ケア 自立を支援する視点から
- 5月号 暴力被害から女性を救う 助産師が担う大きな役割
- 4月号 産科混合病棟の中で助産師にできること
- 3月号 10年目を迎えた 産科医療補償制度と助産師
- 2月号 母乳育児と乳がん
- 1月号 私の会陰保護技術を振り返る